

「スマホ、タブレットを使った体験型研修会」を開催

北陸情報通信協議会は、北陸総合通信局との共催により、教育関係者、自治体担当者がインターネットの安心安全な利用方法を体験して学ぶ研修会を、平成29年2月に「石川」「福井」「富山」の各会場において開催しました。研修会には、石川会場25名、福井会場30名、富山会場90名が参加しました。

石川会場(2月15日、金沢広坂合同庁舎)では、市野 敬介 氏(ソフトバンク株式会社派遣講師 NPO法人企業教育研究会(ACE))が「みんなで考えよう、ケータイ・スマートフォン」と題して、福井会場(2月22日、福井市地域交流プラザ アオッサ)と富山会場(2月23日、富山市民プラザ)では、高橋 誠 氏(LINE株式会社)が「LINEのご紹介と、子どもがインターネットを利用する際の注意事項」と題して講演を行いました。いずれの講演でも参加者は、子供たちがスマートフォンやタブレットを利用することによって、犯罪、トラブルに巻き込まれないように気をつけるべき注意点を実機を使って体験しました。

アンケート結果では、「実機体験によるトラブル実例体験は役に立つ」、「子供の実態を把握した上で、解決策を考えることの重要性を再認識した」といった意見が多くとても好評でした。

本研修会は、春の卒業・進学・新入学の時期にフィルタリングの推進や青少年・保護者等のリテラシーの向上のための取組を集中的に展開する「春のあんしんネット・新学期一斉行動」(注1)の一環として、自治体、教育関係者、PTA等が参加する各県の青少年安心・安全ネット利用促進連絡会(注2)の協力を得て開催したもので、各県の青少年安心・安全ネット利用促進連絡会会合が開催された後、その会場を使用して開催しました。

(注1)平成29年度「春のあんしんネット・新学期一斉行動」の取組(平成29年1月27日報道発表)

http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01kiban08_03000238.html

(注2)青少年安心・安全ネット利用促進連絡会

自治体、警察、教育関係者、PTA団体、消費者団体、有識者、電気通信事業者等が参加し、青少年が安心・安全にインターネットを利用できる環境を整備することを目的に、各県に「いしかわ青少年安心ネット環境推進連絡会(座長:金沢大学 地域連携推進センター 教授 浅野 秀重)」、「富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会(座長:富山大学 名誉教授 山西 潤一)及び「福井県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会(座長:福井県立大学 教授 山川 修)」として構成されたもので、関係者間の情報共有や青少年、保護者、教員等を対象としたリテラシー向上のための普及啓発活動を行っています。



石川会場の模様
平成29年2月15日
金沢広坂合同庁舎



福井会場の模様
平成29年2月22日
福井市地域交流プラザ アオッサ



富山会場の模様
平成29年2月23日
富山市民プラザ